

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年7月13日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第27週 2016年 7月 4日 ～

2016年 7月 10日

設置定点数 48 ケ所

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ																														

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

小児科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
R Sウイルス感染症																								
咽頭結膜熱						1		2	1	4		1			1	1	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	6			3		4	8	18	50			2	3	9	1	3	8	6	6	5	4		3
感染性胃腸炎	14	7	5	3	25	5	45	56	25	185	4	16	14	15	34	6	18	15	13	5	4	20	5	16
水痘	1						2	5	1	9		1	1		3	1	1	2						
手足口病	5	1			2		2	6	5	21		1	4	4	4	4	2		1			1		
伝染性紅斑	1				2	2	1		4	10				2	1		2			1	1	3		
突発性発疹	1			1	1	1	1	3	2	10		4	5	1										
百日咳																								
ヘルパンギーナ	29		9	3	11	7	21	25	25	130		9	51	24	13	15	7	5	1			3	2	
流行性耳下腺炎	12	3		1	14	3	7	6	14	60			2	2	7	11	10	7	8	3	3	5		2

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎									1	1																	1		
流行性角結膜炎									1	1															1				

〔定点機関から報告されたその他の感染症情報〕

東灘区○マイコプラズマ肺炎1例:10代男(6101)
北 区○病原性大腸菌感染症1例:10代男(6505)
北 区○カンピロバクター腸炎2例:5～9歳男、10代男(6505)
北 区○アデノウイルス感染症1例:0～4歳女(6505)
垂水区○ノロウイルス感染症1例:0～4歳女(6802)
垂水区○カンピロバクター腸炎1例:5～9歳男(6802)
垂水区○細菌性腸炎1例:年齢・性別不詳(6804)
垂水区○病原性大腸菌感染症1例:年齢・性別不詳(6804)
垂水区○カンピロバクター腸炎1例:年齢・性別不詳(6804)
西 区○ロタウイルス感染症1例:年齢・性別不詳(6903)
西 区○アデノウイルス感染症1例:年齢・性別不詳(6903)
西 区○マイコプラズマ肺炎2例:5～9歳性別不明、30代女(6905)

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

神戸市 発生動向〔検索〕

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は0人です。

【市内の感染症の状況】

市内で流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)が流行しています。
患者報告数は例年よりもかなり多く、注意報レベルに近づいています。
髄膜炎や難聴など重症化することがあり、予防接種が有効です。
1歳以上で接種することができます(任意・有料)

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

0157に代表される腸管出血性大腸菌感染症が増加しています。今年報告のあった14例のうち、7月4日～7月13日で9名の患者報告がありました。主な症状は激しい腹痛や水様便、血便などですが、患者の5～10%に続発する溶血性尿毒症症候群(HUS)は死亡あるいは腎機能や神経障害などの後遺症を残す可能性のある重篤な疾患です。菌に汚染された飲食物(井戸水、サラダ、生肉等)を摂取するか、感染者の糞便で汚染されたものを口にすることで感染します。50個程度の少量菌数で感染するため感染力が非常に強く人から人への感染も十分に注意する必要がありますが、加熱(75℃・1分以上)や市販の消毒薬(アルコール、逆性石けん)で死滅します。パーベキューや家で肉を十分に加熱しなかったため感染する例があります。肉は十分に加熱し焼く箸と食べる箸は必ず分けましょう。

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年7月13日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	5～9歳	2016年7月1日	2016年7月2日	2016年7月6日	O157 (VT1VT2)	便培養法	血便、 水溶性下痢	不明	
女	30代	2016年7月1日	2016年7月5日	2016年7月7日	O157 (VT2)	便培養法	腹痛、 水様性下痢	経口感染	
男	5～9歳	/	2016年7月5日	2016年7月7日	O157 (VT2)	便培養法	/	経口感染	無症状 病原体保有者
男	0～4歳	2016年6月30日	2016年7月3日	2016年7月6日	O157 (VT1VT2)	便培養法	腹痛、発熱 水様性下痢、 血便	不明	
男	5～9歳	2016年6月29日	2016年7月4日	2016年7月8日	O157 (VT2)	便培養法	腹痛、 水様性下痢	不明	
女	20代	2016年7月4日	2016年7月5日	2016年7月8日	O157 (VT1VT2)	便培養法	腹痛、 水様性下痢	経口感染	
女	40代	/	2016年7月9日	2016年7月12日	O157 (VT1VT2)	便培養法	/	不明	無症状 病原体保有者

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2016年7月4日	2016年7月4日	2016年7月5日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱、咳嗽 肺炎	その他 (空き缶 の回収作業時)	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	0～4歳	2016年7月11日	2016年7月11日	2016年7月12日	病原体不明	臨床症状	発熱、痙攣 意識障害	不明	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 アメーバ赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2016年6月初旬頃	2016年6月21日	2016年7月4日	腸管外アメーバ症	血清抗体の検出	腹痛、発熱 右季肋部痛 肝腫大、肝臓痛	同性間性的接触	

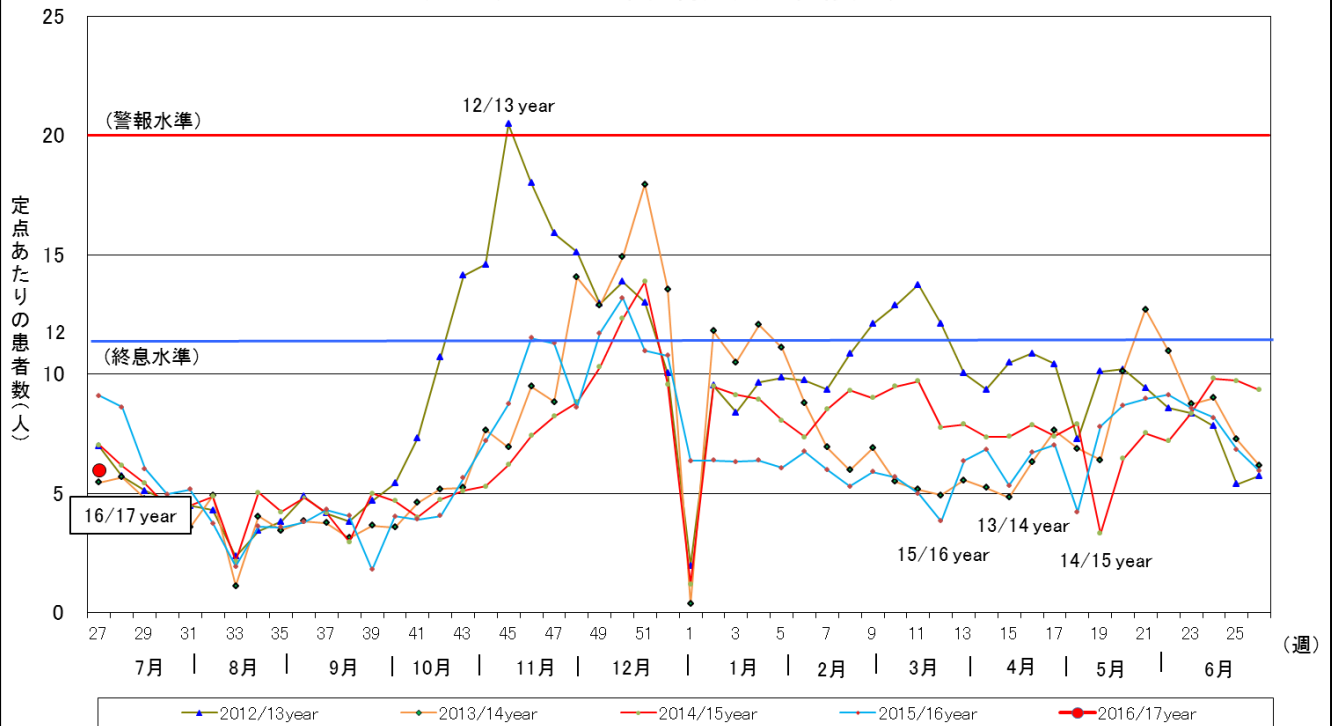
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 後天性免疫不全症候群)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2016年5月頃	2016年6月18日	2016年6月18日	AIDS	CLIA法 Western Blot法 PCR法	全身倦怠感 呼吸困難 (ニューモシス ティス肺炎)	同性間性的接触	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
アデノウイルス1型	咽頭ぬぐい液	中央	9歳0ヶ月女児 (6/20採取、38℃、咽頭結膜熱)
コクサッキーウイルスA4型	咽頭ぬぐい液	垂水	2歳6ヶ月女児 (6/27採取、39℃、ヘルパンギーナ)
	咽頭ぬぐい液	須磨	3歳8ヶ月女児 (6/28採取、38.6℃、ヘルパンギーナ)
コクサッキーウイルスB1型	咽頭ぬぐい液、 便	東灘	1ヶ月男児 (6/27採取、38.0℃、ヘルパンギーナ)
コクサッキーウイルスB5型	咽頭ぬぐい液、 便、髄液	中央	2ヶ月男児 (6/28採取、38.7℃、無菌性髄膜炎)

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



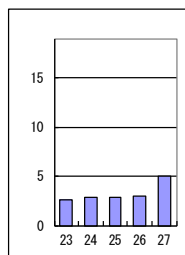
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 23 週 平成28年6月6日

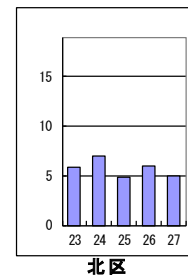
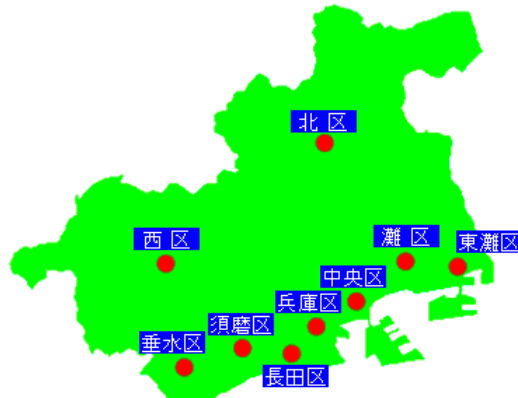
～

第 27 週 平成28年7月10日

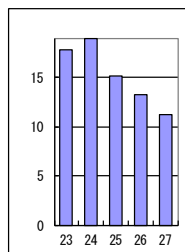
感染性胃腸炎



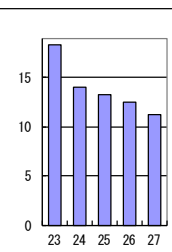
西区



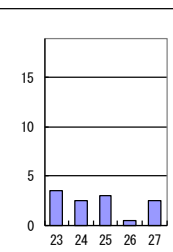
北区



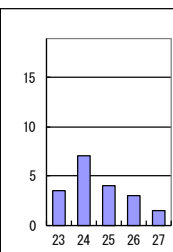
垂水区



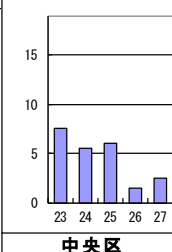
須磨区



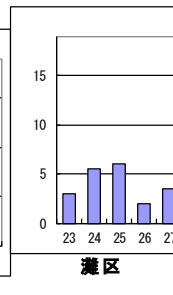
長田区



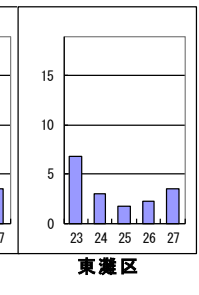
兵庫区



中央区



瀬区



東瀬区

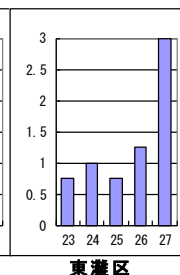
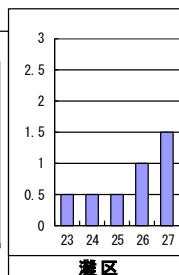
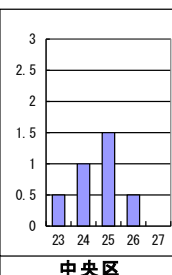
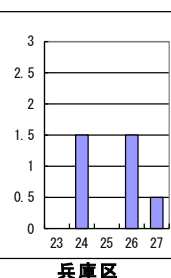
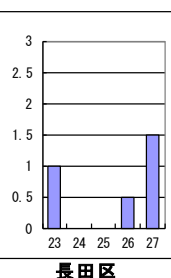
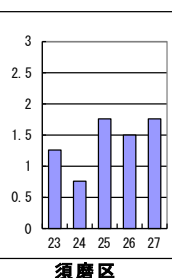
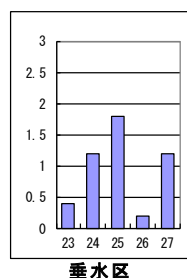
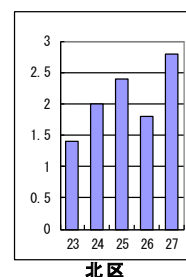
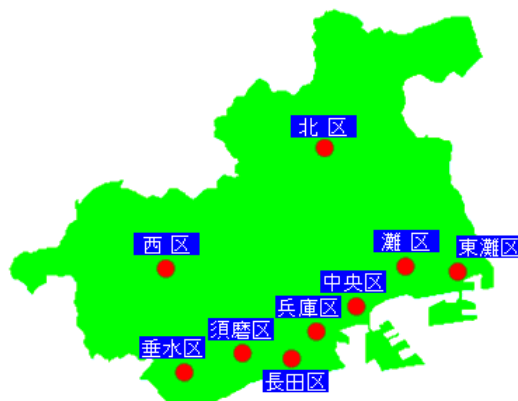
※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

Figure 1: Line graph showing the number of patients per 100,000 population from January to December for the years 2010 to 2016. The graph includes horizontal lines for '終息水準' (End Level) at 2.0 and '注意報水準' (Warning Level) at 3.0. The 2016 data is highlighted in red, showing a significant peak in July and October. The 2015 data is highlighted in pink, showing a peak in September. The 2014 data is highlighted in purple, showing a peak in May. The 2013 data is highlighted in orange, showing a peak in June. The 2010 data is highlighted in grey, showing a peak in October.

Year	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2010 year	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2
2013 year	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2
2014 year	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2
2015 year	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2
2016 year	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6

第 27 週 平成28年7月10日

Day	Number of People
23	0.5
24	1.8
25	1.4
26	0.8
27	2.8



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。